

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和4年10月13日

【観測結果（調査日：10月12、13日）】

10月12日に伊勢湾南部と渥美外海、13日に伊勢湾北部から南部の観測を実施しました。海面水温は、21.6℃から25.3℃となっており、外海の沖へ向かうほど水温が高くなっています。

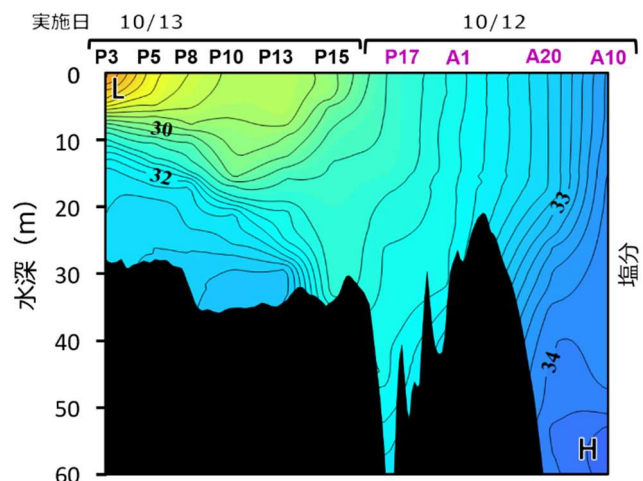
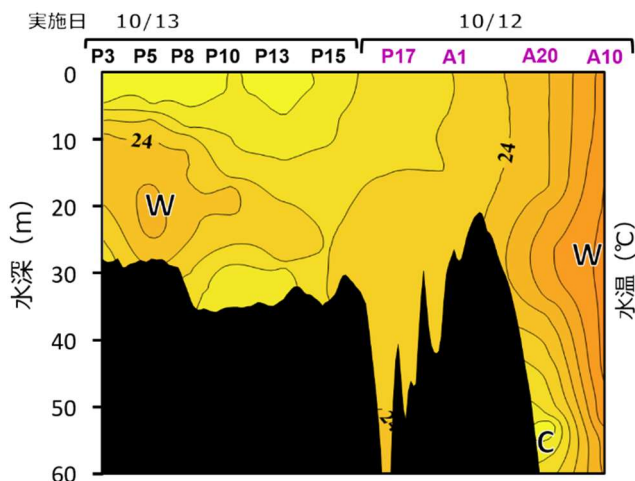
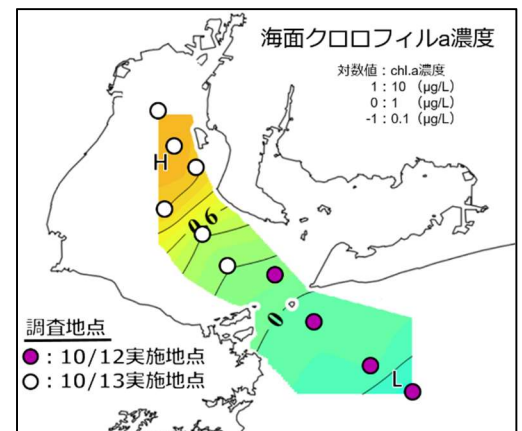
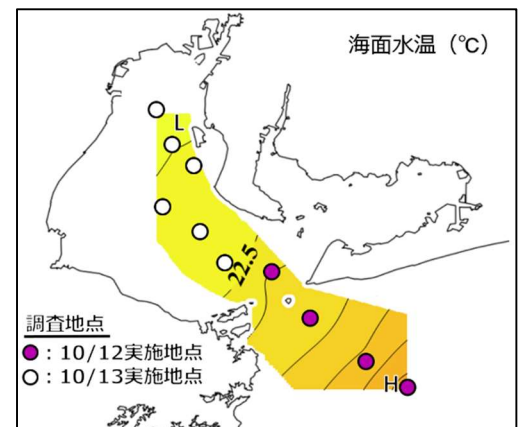
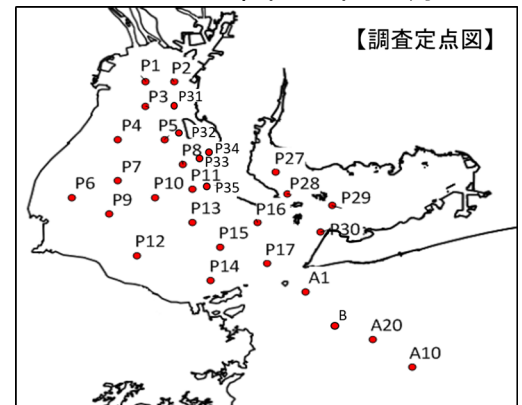
海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾の湾奥部で高く、渥美外海で低くなっています。

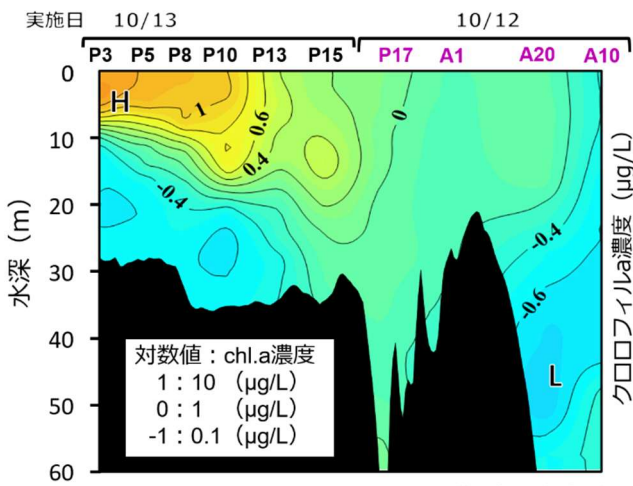
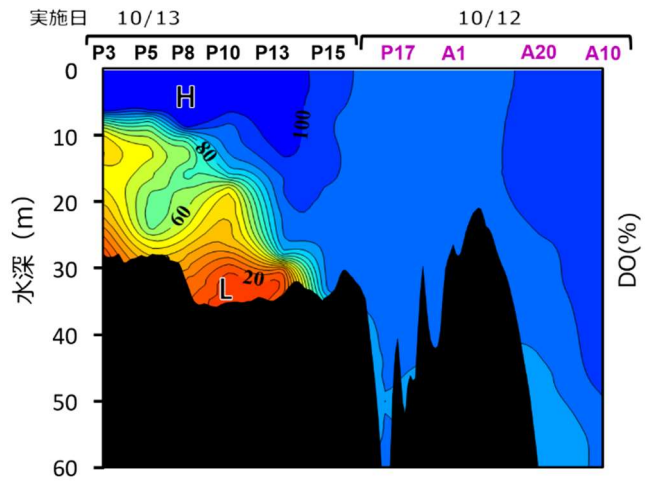
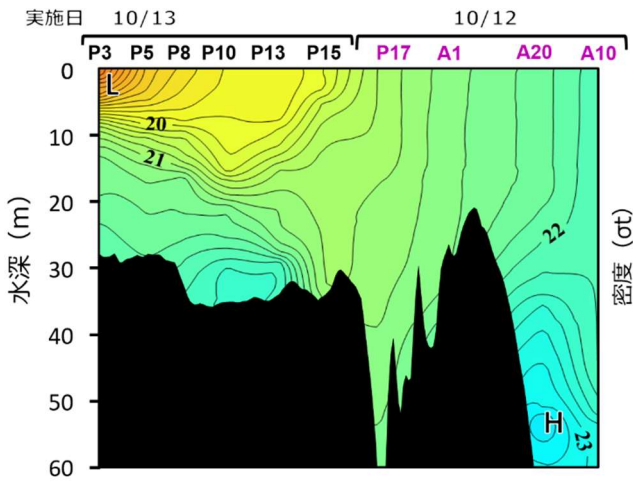
【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

伊勢湾では湾奥（P3）の表層に低塩分の軽い水が分布しており、渥美外海に高温・高塩分の水が分布しています。また、気温の低下に伴い表層からの冷却が進んでおり、底層よりも表層の水温が低くなっています。今後、気温の低下が進むに伴って表層と底層の水温差が小さくなり、鉛直混合が生じやすくなると考えられます。

クロロフィルa濃度は湾奥（P3）から湾央（P13）までの表層を中心に高くなっています。

湾央部（P8～P13）の底層付近には、貧酸素水塊（溶存酸素飽和度30%以下）が形成されています。





※図中の値は常用対数値です